

FUKUOKA DESIGN AWARD '09

Prize-winning commodity collection
Symposium, Exhibition and Commendation Ceremony

Fukuoka Industrial Design Association / Fukuoka Prefectural Government



1. Fukuoka Design Award Nominating Product Show / 2. Section of Daily necessities
3. Section of Furniture and Interior / 4. Section of Industry and Career Equipment
5. Section of Local products / 6. Section of Medical care and Welfare and Education Equipment
7. Section of Special=Designer of the prefecture*Enterprise of outside the prefecture

FUKUOKA DESIGN AWARD / COMMENDATION CEREMONY

Grand prize, Excellent prize, Encouragement prize, Special section prize, Prize of guest judge

FUKUOKA DESIGN AWARD SYMPOSIUM

10th, November = Lecture = Mr. Makoto Umebara

11th, November = Lecture = Mr. Chiaki Murata

Address / 7-7, Higashi-Koen, Hakara-ku, Fukuoka, 812-8577, JAPAN

Telephone / +81-92-643-3435 / Facsimile / +81-92-643-3436

E-MAIL / design@asia-kyushu.com

URL / <http://www.joho-fukuoka.or.jp/isandkyo/>



Good Design is Good Business.

FUKUOKA DESIGN, AWARD '09

Prize-winning commodity collection
Symposium, Exhibition and Commendation Ceremony

Fukuoka Industrial Design Association / Fukuoka Prefectural Government



GREETING MESSAGE

FUKUOKA DESIGN AWARD '09

Prize-winning commodity collection
Symposium, Exhibition and Commendation Ceremony



Good Design is Good Business.

AWARD '09
DESIGN
FUKUOKA

Greeting Message

麻生渡／福岡県知事

Wataru Aso

第11回福岡産業デザイン賞受賞企業ならびに受賞デザイナーの皆さまおめでとうございます。「福岡産業デザイン賞」も今年で11回目を迎えました。今年は過去最多の152商品のご応募がありました。デザインによる付加価値の高い商品開発を進める「福岡産業デザイン賞」の趣旨が定着してきていることを大変うれしく思います。本県は、高度なものづくり企業が多数集積するとともに、日本有数のデザイン事務所集積地でもあります。そのため、本県では、福岡県産業デザイン協議会と連携して、この「福岡産業デザイン賞」事業など県内企業の競争力を強化する取り組みを進めています。さらに受賞商品の常設売場「福岡デザインコレクション」を開設するなど、デザイン刷新による売れる商品づくりを推進しています。

経済は、一部で持ち直しの兆しが見えてまいりましたが、依然として厳しい状況が続いています。このような中、独創的なアイデアや革新的な技術を駆使し、世界の人が買いたい、使いたいと思う製品を生み出していくことが極めて重要です。

今年度は、大賞を受賞した「緑茶維新シリーズ」をはじめ、デザイナーとの協働による商品が数多く見られました。製品の魅力・価値を高めるために商品開発にデザインを生かす企業が育ってきていると実感しています。

今後、ますます企業とデザイナーとの連携が広がり、福岡県から数多くの魅力あるヒット商品が生まれることを期待しています。

水口敬司／福岡県産業デザイン協議会 会長

Keiji Mizuguchi

「福岡産業デザイン賞」は、県内企業のデザインの優れた商品を表彰・推奨し、デザインをもっと身近な経営資源として活用していただくため、平成11年より実施しています。第11回となる今回は、過去最高の応募件数があり、中でも企業の皆さまとデザイナーとのコラボレーションで生まれた応募商品が多く、デザインへの関心の高まりを感じる内容でした。

また、2日間に亘り開催した応募商品展示会では、多くの来場者を迎え、大変盛況に実施することができました。ご尽力いただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

今日、多様な商品が手に入る中で、消費者をひきつける個性的で魅力ある商品の開発が強く求められています。当協議会では、これまで様々な企業の商品を表彰・推奨してまいりましたが、その中には、年々、商品の改良、高度化を図られ、継続して受賞されている企業が多数ございます。「Good Design is Good Business」と言う言葉が示すとおり、すばらしいデザインはビジネスの成功をもたらします。今回、受賞された企業、また、ご応募いただいた企業の皆様が、今後さらに、商品の高度化に取り組まれることを期待しています。

今後も、本県におけるデザイン振興の中核組織として、企業とデザイナーとの活発な交流を支援し、「デザインを活用した「売れるものづくり」の推進に取り組んで参ります。引き続き、皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

Fukuoka Design Award 2009

二〇〇九年度 審査委員

Judges

□委員長

森田昌嗣

デザインディレクター

九州大学大学院芸術工学研究院 教授

□委員

池田美奈子

九州大学大学院芸術工学研究院 准教授

大倉紀子

株式会社ジャンヌマリー 代表取締役

大齒滋喜

昭和鉄工株式会社技監

福岡県産業デザイン協議会 企画専門委員長

かねこしんぞう

株式会社インデックスプラス 代表取締役

楠林 拓

近畿大学産業理工学部 建築・デザイン学科 准教授

神谷昌秀

福岡県工業技術センター機械電子研究所 所長

藤元正二

財団法人福岡県産業・科学技術振興財団 事務局長

松下美紀

株式会社松下美紀照明設計事務所 代表取締役

宮本一伸

株式会社アイム 代表取締役

□ゲスト審査委員

梅原 真

梅原デザイン事務所 主宰

ムラタ・チアキ

株式会社ハーズ実験デザイン研究所 代表取締役

山本知行

株式会社バルコ 店舗運営局福岡準備室 室長

Total appreciate

デザインを活用した商品開発の促進を目的とした第11回目の福岡産業デザイン賞は、これまで最多の152件(123社)の応募がありました。

今回の審査は、応募件数の増加による公開審査での対応を考慮して、総勢13名の委員で行いました。内訳は、ゲスト審査員にデザイナーの梅原真氏、ムラタチアキ氏を、近々天神にオープンするパルコの福岡準備室長・山本知行氏を流通の立場から招聘し、県内委員の10名(実務家5名、大学関係3名、行政研究機関2名)を加えた13名です。選定基準は、例年通りの「商品の市場性」「地域産業への影響力」「デザインの独創性・新規性・先導性」とし、公開審査でも、商品等の使用区分による日用品、家具・インテリア、産業・商業機器、地域産品、医療・福祉・教育機器の5部門別に書類および実物、概要パネルなどによって審査を行いました。今年の表彰も、大賞、優秀賞、奨励賞の他、昨年同様に2名のゲスト審査員賞と特別賞のパルコ賞が加わりました。賞の選考は、審査区分に関係なく審査委員の得票数が多かった上位の中から、まず大賞と下記の6テーマに対応した優秀賞を、そして奨励賞、ゲスト審査委員賞、パルコ賞の順に選出しました。同時に、来場者の投票による県内デザイナーと県外企業との協働による特別部門賞を確認しました。

審査の経過は、例年通り、事前に各応募内容の確認と書類審査の1次審査を行い、展示会場においての2次審査を行いました。2次審査は、資料と実物やパネル等を照査して各審査委員別に入賞候補案を仮選定した後、審査委員が公開審査部門別に分かれて、応募商品説明を受けながら審査委員からのコメントを含めた質疑応答による詳細な公開審査を行いました。その後、公開審査結果を踏まえての審査委員による協議を経て、昨年と同数の大賞1件、優秀賞6件、奨励賞30件、県内デザイナーと県外企業部門賞1件、合計38件の選出を行い、また奨励賞とのダブル受賞となったゲスト審査員賞2件、パルコ賞1件も同時に選定しました。

福岡産業デザイン賞は、回を重ねるほどに応募商品等のクオリティが向上し、今回は特に福岡発のオリジナリティのある商品等が多数受賞しました。

応募部門別では、日用品部門で多くの応募があった飲食関係から初の大賞が選ばれ、優秀賞は日用品、家具・インテリア、地域産品の部門から各1件、産業・商業機器から3件が受賞となりました。

日用品部門の飲食関係の大賞には、株式会社つじり「緑茶維新シリーズ ティーバッグ、ティーパウダー」が選ばれました。「シンプルで美味しい茶が飲める感動を皆さまに伝えたい」、「緑茶を維新、するリーディング企業でありたい」、という思いから、日本茶を飲まない日本人、外国人などを対象ユーザーに、シンプルスタイルをコンセプトに商品化されたものです。この「つじりシンプルスタイル」を、茶マークを3つのプラス(+)に置き換えて表現するなど、企業姿勢にもとづく商品開発のコンセプトをわかりやすく可視化したトータルデザインが、審査員一致で大賞に値すると評価されました。

工芸的価値があり、地域に貢献している優秀賞・地域文化賞には、「伝統産業に新しい風」をテーマに、地域産品の博多織の新しい魅力「平成献上」をインテリア空間に展開した「博多テックスインテリアファブリック クッション、テーブルセンター」(地域産品部門)が選ばれました。博多織の伝統的技をインテリアファブリックへ展開し、伝統の美を現代に投影させ、可視化させた完成度の高いデザイン力が高く評価されました。60年以上の伝統的建材でありローコストでもあるR波形板(スレート)市場を活性化するための「トツソウ」(産業・商業機器部門)が、ビジネスの可能性を広げ、その波及効果が大きいと評価される優秀賞・メテリアル賞を射止めました。スレート建材表面の凸状ドットとメタリック塗装を施すことでの耐候性能の向上、また40色に及ぶ色彩による意匠性能を向上させ、機能と感性の融合による伝統的建材を魅力的な外・内装材として可視化したデザインが高く評価されました。世界初の「エア式ピッチングマシン<ビッグ・ガン>」(産業・商業機器部門)が、技術面や性能面で優れている優秀賞・テクノロジー賞に選ばれました。従来の高速回転ローターやアームが無く、安全性が高く、打球精度にも優れ、打球スピードを簡単に調整できるピッチングマシンを、エア式である特徴を筒状の形状にまとめるなど、技術・性能を素直に可視化したデザインです。地球環境の配慮や生活福祉の向上につながる優秀賞・環境・福祉賞は、ソーラーLEDライト「スタイリッシュソーラー照明シリーズ ストック(ボールライト)、フック(フットライト)、サインージ(サイン用ライト)」(産業・商業機器部門)です。ソーラー技術を活かしたLED照明として完成度の高い造形にまとめており、パブリックスペースのいずれの場所にも適合しうるシンプルなデザインが公共の場づくりに貢献する可視化のデザインとして高く評価されました。新しいライフスタイルを提案する優秀賞・ライフスタイル賞の「ソデント」(家具・イン

テリア部門)は、公民館やお茶教室など、みんなで集まって作業する場所で用いる木製の家具。スタッキングすると棚として使用でき、女性一人でも持ち運べる軽量化を実現し、多様な使用環境に適用できること、そして折り紙のようなシンプルな造形は、無垢板を使用した軽そうな木製家具、を可視化した優れたデザインです。優秀賞・インターフェイス賞には、バックにコンパクトに収納し常備携帯できる「エコ商品携帯折箱」(オハコ)「オリモーター」(日用品部門)の受賞となりました。「お持ち帰り習慣でエコしよう、広げてたたくで手軽なオハコ」のキャッチフレーズ通り、女性目線で開発され、携帯性と組み立てやすさ、何度でも簡単に洗えるなどを可視化し、生活者にエコ生活を呼び起こす優れたインターフェイスデザインです。

奨励賞受賞の30件の内訳は、今年度は応募点数が増えた日用品部門の受賞9件、地域産品部門と家具・インテリア部門が各々8件の受賞、産業・商業機器部門3件、そして医療・福祉・環境・教育機器部門が2件の受賞となりました。奨励賞も受賞数に限りがあるためにもう少しで選外となった商品も多く、また奨励賞の中には、受賞点数が限られている優秀賞と並び評価が高い商品も多く、これらの選考にあたって審査委員会が最も苦慮したところでした。

今回も「福岡らしさ」のためのデザイン活用の進展がみられました。特に、食の文化を誇る「福岡」にふさわしい大賞や、福岡の産業・商業を基盤とする機器が3件優秀賞を受賞するなど、福岡の文化・産業を支える多くの企業が、デザイン活用による着実な質的牽引役を担ってきている証ともいえます。デザイン活用とは、ユーザーの観点からのものづくりであり、生活イメージを機能と感性の融合によって商品などの具体的なカタチに可視化し、事業に結びつけることです。11回を重ねた本表彰制度は、応募件数の増加、応募商品等の質的向上、そして何よりも受賞企業だけでなく惜しくも受賞を逃された企業におけるデザイン活用による商品開発への積極的な取り組みが多くみられ、福岡産業デザイン賞の意義と成果が明確化されてきたと実感しました。福岡から日本、そして世界へ発信できる「福岡らしさ」の地域ブランド創出をめざして、次年度も多数の意欲的な応募を期待しております。

審査委員長 森田昌嗣
(九州大学大学院芸術工学研究院・教授)

PRODUCT COLLECTION

FUKUOKA DESIGN AWARD '09

Prize-winning commodity collection
Symposium, Exhibition and Commendation Ceremony



Good Design is Good Business.

Grand prix

緑茶維新シリーズ T/BAG(ティーバッグ)、T/POWDER(ティーパウダー)

E：つじり/辻利之 DF：SHIROKURO/加藤真弓

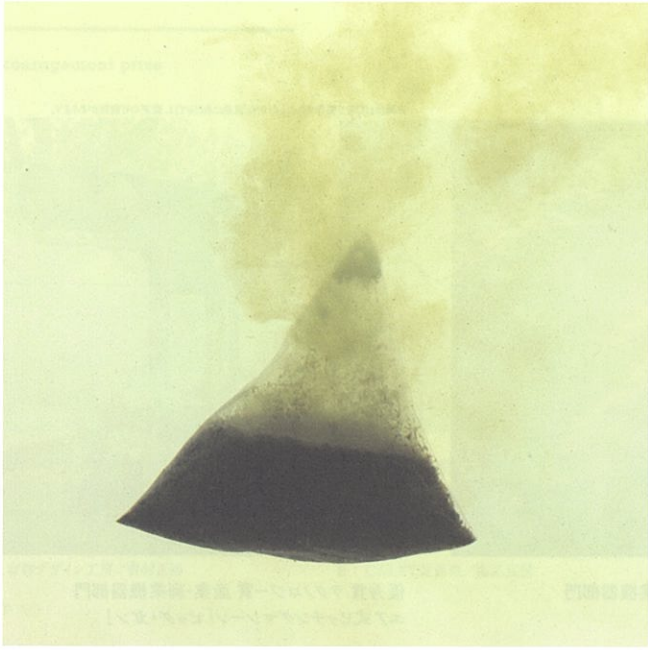
江戸時代・萬延元年(1860年)に辻利右衛門が玉露の製法を大成させたことに端を発する老舗のお茶屋「つじり」が「シンプルで美味しい茶が飲める感動を皆さまに伝えたい」「緑茶を“維新”するリーディング企業でありたい」という思いから、日本茶を飲まない日本人、飲みたくても面倒で飲まない外国人などを対象ユーザーに商品化したのが「緑茶維新シリーズ T/BAG(ティーバッグ)、T/POWDER(ティーパウダー)」である。お茶の老舗であるからこそ、従来の茶の概念を一掃し、八女茶など国産厳選茶葉のおいしさを手頃な価格で簡単に美味しいお茶が飲める感動を提供するために、シンプルスタイルの茶葉が開きやすい三角袋のティーバッグと、スプレードライ特殊製法で味と香りを再現できる丸い粉のティーパウダーの商品開発となった。パッケージや商品ラップには、この「つじりシンプルスタイル」の商品コンセプトを、「心」と「体」と「環境」にやさしい、また「おいしさ」「手軽さ」「便利良さ」の三つのプラス(+)を用いた“茶”をオリジナルなロゴマークのデザインに結びつけている。“茶”のロゴマークには、三つの+に三角袋ティーバッグの▲、丸い粉ティーパウダーの●をさり気なく加えたデザイン展開、また老舗つじりからお茶業界への挑戦を意図した“果たし状”のモチーフを取り入れるなど、企業姿勢にもとづく商品開発のコンセプトを素直でわかりやすく可視化した優れたトータルデザインであることが、審査員一致で大賞に値すると評価された。(講評/森田昌嗣)

*E：企業=Enterprise/DF：デザイン企業=Design Firmの略です。

**株式会社”等の企業形態は省略して記載しています。

*受賞者の役職は省略して記載しています。

*企業やデザイン企業の概要は、受賞企業一覧のページに記載しています。



Excellent prize



優秀賞 地域文化賞 地域産品部門
博多テックスインテリアフアブリック
クッション・テーブルセンター

E：博多テックス有限責任事業組合/原田昌行
DF：ダーウィン有限責任事業組合/かねこしんごう

和装の機会が減り、市場が縮小する伝統産業博多織を、デザインを通じて新市場に展開している点が高く評価された。一流ホテルにも採用され、伝統産業の新しい利用形態を広報した功績も大きい。応募商品は伝統に甘えず、モダンな空間にも合致するよう、献上柄から発展させた斬新でシャープなデザインは、確かな伝統技術と高いデザイン性の融合を具現しており、数ある応募作品の中でも白眉と呼べる存在感があった。(講評/楠林拓)

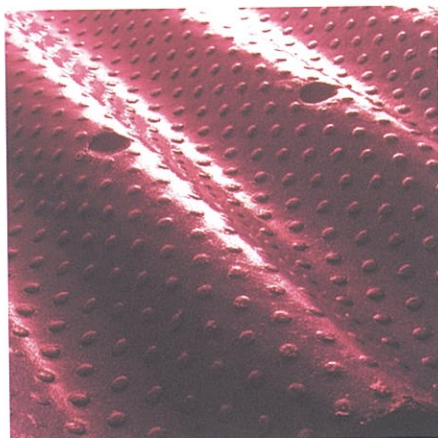
※背景は合成です。



優秀賞 環境・福祉賞 産業・商業機器部門
スタイリッシュソーラー照明シリーズ
(ストック・フック・サイネージ)

E：リーフライト/瀬川美子
DF：ピー・エー・デザイン/坂口和夫

本シリーズ商品はエクステリアのパブリックスペースを管理・所有する自治体や個人をユーザー対象としているが、市場競争力を確保すべき基本機能である明るさの確保や長寿命性及び、ランニングコストを含む製品価格の妥当性についても説得力が有り開発スタンスのしっかりしたシリーズ商品と評価された。また、シンプルにまとめた造形がレベルの高い商品価値をうみ、シリーズとして統一感の有る造形的な完成度も高く評価された。(講評/宮本一伸)



優秀賞 マテリアル賞 産業・商業機器部門
トツォウ

E：トツォウ/末包潔和
DF：GEO BRAIN 一級建築士事務所/白藤泰利

大正時代から使用されてきた馴染の深いセメント系の波型スレート。その表面に凸状のドットを配するとともに、メタリック系特殊塗料を施すことで、耐候性と意匠性を備えた全く新しい建築素材としてリニューアルした。表面のテクスチャーとメタリック系塗料の相乗効果により光の当たり方で常に表情が変化し、外壁材、あるいは店舗の内装材として用途開発が非常に期待される建材である。また、ノーシーリング工法用の役物も取り揃えており、完成度も高く、スレートの新しい分野を開拓したところが高く評価された。(講評/大歯滋喜)



優秀賞 ライフスタイル賞 家具・インテリア部門
sodento(ソデント)

E：ナカヤマ木工/中山貴裕
DF：近畿大学産業理工学部 建築・デザイン学科空間デザイン研究室/金子哲大

無垢のバイン材を使用した軽量でスタッキングできる木製デスク「ソデント」。女性でもらくらくと持つことが出来る。単体で使用するはもちろん、さまざまな組み合わせも可能で、スペースのあまり取れないスクールや独り暮らしの学習机としても使用出来る。スタッキングしたときはキャビネットにも使える優れたもの。デザイン性も高く自然な風合いと折り紙のようなディテールが魅力的。コストパフォーマンスも高いことが評価された。(講評/松下美紀)

※画像はCGで製作されたものです。量産にあたっては、変更の可能性が有ります。



優秀賞 テクノロジー賞 産業・商業機器部門
エア式ピッチングマシン「ビッグ・ガン」

E：共和技研/田中完二
DF：ピー・エー・デザイン/坂口和夫

エア式を用いた画期的機構による世界初のピッチングマシンであり、機械式の従来製品に比べ、非常に高い競争力がある商品である。170km以上の球速やストライクゾーンを外れない投球精度、機構的に安全性が高く、全国の小・中学校からプロまでが利用可能であるなど、技術面および産業面で最も優れていたため、テクノロジー賞として評価された。エア式であることを表現する筒状の力強さと先進性を持ったデザインを開発中であり、その仕上がりにも期待したい。(講評/神谷昌秀)



優秀賞 インターフェース賞 日用品部門
エコ商品携帯折箱(オハコ)オリモッター

E：デロテコム/田中雄二

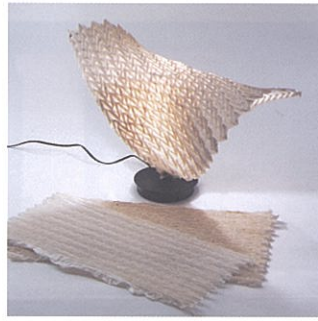
オリモッターは携帯できる折箱です。特徴は、簡単に折り畳め瞬時に一枚のフラットな板状になる所。この為、使わない時は女性のバッグにも簡単に収納でき、場所をとりません。空の弁当箱が邪魔だと思っている女性達に嬉しいアイデア商品です。フラットシートになる為、洗浄も簡単にでき、まさに女性目線で考えた待望のエコ商品だといえます。マーケットを見据えたカラーリングやパッケージに期待します。(講評/大倉紀子)

Encouragement prize



ゲスト審査委員賞(梅原真賞) / 奨励賞 産業・商業機器部門
雨水簡易集水ネット「雨葉」

E: 吉村デザイン工房 / 吉村正徳



ゲスト審査委員賞(ムラタ・チアキ賞) / 奨励賞 家具・インテリア部門
和紙ブリーツ照明

E: COLET井筒屋 / 島添正信



パルコ賞 奨励賞 / 日用品部門
DateBlockシリーズ

E: エーアールユー / 永岡武
DF: デザインスタジオ・アル / 永岡武



奨励賞 日用品部門
自然薯とうろろドレッシング・自然薯万能とうろろ

E: 野菜王国 / 崎田正司
DF: ビーアンドビー / 真田彬

雨が葉っぱに落ち、雫となって大地に落ちて行く。そのイメージからの商品開発。アナログでユーモアたっぷりの実用品となっています。この商品は畑作りをやった人ならその有り難さがわかりますが、そうでない人には素通りされてしまいかも知れません(笑)。これからは安全で新鮮な食を求めてますます家庭菜園が増えます。「水」と「安全」はタグだと思っている日本人にとっての必需品となる筈です。もう少し、カンタンに設置できるようになれば、さらにスバラシイ商品になると思います。(講評 / 梅原真)

和紙の美しさは、素材が織りなす透け感の味。その美しさを引き出す照明は、和紙の透過光に頼る表現が多かったが、この「和紙ブリーツ」という金型による和紙のプレス加工は、和紙に新しい立体陰影を作りだした。布のブリーツ加工は従来からあったが、紙には不向きとされていた。それを、「八女手漉き和紙」というこしが強い素材が可能にしたのだ。光を放たない時も美しい照明。幾何学的なブリーツが、和紙に新たな命を吹き込んだ。(講評 / ムラタ・チアキ)

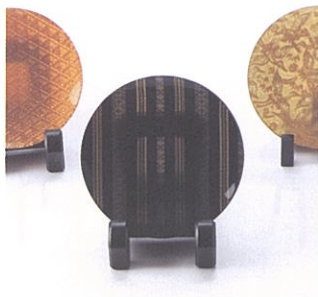
こだわりの年賀状やデザイン名刺を開発しているグラフィックデザイン会社の初のプロダクト商品である卓上万年カレンダーと新商品の「ペーパーカレンダー」。一貫して拘っている八十年代に発表されたドイツの傑作フォント「ROTIS(ローティス)」を採用し、普遍的でスタイリッシュな形状に仕上がり、インテリアとして美しい存在になり得るカレンダーである。また、壁掛けタイプは、実用的な二ヶ月掲示を可能にしたアイデアも評価された。(講評 / 山木知行)

自然薯(じねんじょ)は体に良いとわかっていても皮をむいたり、すりおろしたりと手間がかかるため、手をせせしめた消費者も多かったはず。そこに着目し、九州産の自然薯だけにこだわって、より安全性を強調。使いがてのよいドレッシングに仕上げたことは大いに評価できる。店頭での陳列を考慮して作られたすりばち型のラベルはインパクトもあり、わかりやすい。本体のパッケージについても個性的なデザインを期待します。(講評 / 大倉紀子)



奨励賞 日用品部門
つるまるくスイーツ>>クッキング>

E: 鶴商店 / 鶴記久朗
DF: デザインプログラム / かねこしんぞう



奨励賞 日用品部門
博多献上ガラス皿

E: 坂井ガラス工房 / 坂井徳宏



奨励賞 日用品部門
ラ・ラ・ラガラス

E: 粋工房 / 伊藤幹生



奨励賞 日用品部門
淡竹(HACHIKU) - 竹石鹸 - ※

E: NPO法人すこやかコミュニティセンター / 立石朋子
DF: スタジオ・ベン / 上原勉

菓子材料、資材卸業の強みを背景にしなが、直接エンドユーザーの心をとらえる魅力的な商品である。自らの手でモノを作ることが少なくなった現代、さらに食べものを作り、また人に食べさせるという基本的な生活や人とのコミュニケーションの機会すら失われつつあるなかで、作ること、人と一緒に食べること、また贈ることの幸せを再認識させる視覚的要素と内容を兼ね備えたデザインである。(講評 / 池田美奈子)

人々の生活スタイルの変化によって伝統的な博多織製品が日常生活から姿を消しつつあるなかで、現代の生活に合った新しい製品に博多織のエッセンスと魅力を封じ込めようとする試みに好感が持てた。また、伝統の献上柄とガラスの器のコンビネーションは意表をつくアイデアである。現代人の感性にも訴える普遍的な魅力を持つ献上柄の特性を活かした商品展開ではあるが、市場拡大のために樹脂の使用と価格面での改善を期待する。(講評 / 池田美奈子)

アイデアと着目点に優れ、大変可能性を感じる作品です。設備投資が必要な従来型のガラスピンの再生法ではなく、使用済みのピンを、キルンワーク技法で変形させ、新しいプレートとして生まれかわらせたのです。本来のピンのもつ美しさに着目し、それをうまく利用したアイデアと感性の勝利と言えます。作品の完成度アップによるマーケットの拡大を期待します。(講評 / 大倉紀子)

竹が持つといわれる抗酸化・抗アレルギーなど生体有用性に着目し合成材料を使用しない高級石鹸商品。竹を超微粒子パウダー化し石鹸に練り込むなど高い技術で作られたものであるが、技術を押し出さないシンプルなパッケージをコンセプトに構成されている。竹イメージの色彩や適度に配置されたロゴ等を含めキラつかず、安心感のあるデザインにまとめられている。(講評 / 藤元正二)

※通称: 淡竹(はちく)石鹸

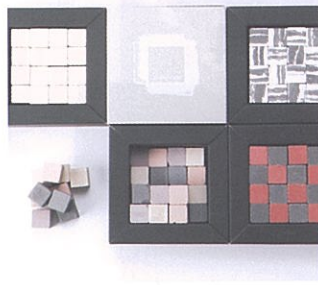
Encouragement prize



奨励賞 日用品部門
コスメパティエ

E, DF : ハーベリアース/久間聖子

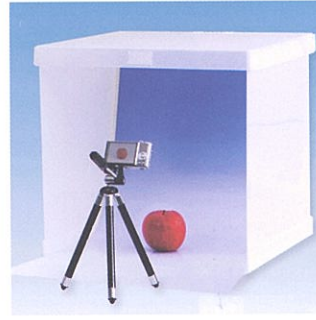
ネーミングが素晴らしい。若い女性の興味No.1のコスメとあこがれ職業No.1のパティエを組み合わせた意外性のあるネーミングが心を惹き付ける。商品の内容は、天然素材にこだわったケーキの形のおしゃれな石鹸。ギフト用にも自家需にも使える所と、幅広い品揃えが魅力。類似した商品が多数開発されているので、今後はよりオリジナリティを追求した商品開発を期待します。
(講評/大倉紀子)



奨励賞 日用品部門
LumieCUBE

E : 田川産業/行平信義
DF : 岩下建作デザインオフィス/岩下建作

商品にとって3つの大きなデザインの要素がある。まずは製品そのものの形状デザイン。そしてその製品を包む包装やパッケージデザイン。それらを大きく括る販促物などのコミュニケーションデザイン。この3つの要素がバランス良くデザインされた優れた商品である。またメーカーの特徴と環境を踏まえた時代性を兼ね備えた企画の良さも評価された。これらの良さを商品名で表現できれば、更なる市場拡大が図れるだろう。(講評/かねこしんぞう)



奨励賞 日用品部門
SIMPLE STUDIO

E : 上村紙業/上村篤弘

近年においては、商品の企画力や商品化にスピードが求められている。適切なタイミングで商品を市場に出すことがマーケットへの競争力を高めるからである。その様な対応で商品紹介する際の写真の出来映えも商品の魅力を引き出す大きなポイントである。このシンプルスタジオは普段は仕舞っておいて、使用する際にさっと組み立てることができる数種のバックホリゾントが内蔵された商品撮影の頼もしい助っ人である。(講評/かねこしんぞう)



奨励賞 家具・インテリア部門
スツール

E : 独楽工房 隈本木工所/隈本知伸
DF : 福岡県工業技術センターインテリア研究所/諫山宗敏

100年に及ぶ八女独楽(こま)製作の木工クロコ技術による、子どもが楽しんで座ることのできる、まるみと木の優しさを表現した“スツール”。独楽をつくる木工クロコで形づくる丸いかたちと、木本来の素材による樹種の優しい色合いの組み合わせが、小さなスツールの愛着を醸し出している。小さいが安定感があり、小さな子どもも安全に使用できるうえ、さりげなく玄関や部屋の隅で役立つインテリア小物でもあるなど、八女地域の伝統工芸の新しい展開の可能性を示唆している。(講評/森田昌嗣)



奨励賞 家具・インテリア部門
loaf

E : 近藤コア工業/近藤高之
DF : 近畿大学産業理工学部建築・デザイン学科・プロダクトデザイン研究室/尾道翔太、楠林拓

成形合板の技術を活かしたユニット家具“loaf”は、機能性と造形性を高い次元で両立させている。ユニットのやわらかなかたちは、単体でも座り心地の良い小椅子となり、2個並べるとベンチ、重ねると食卓テーブルに、また組み合わせを工夫すると棚になるなど、多様な生活シーンを創出することのできる家具を提案している。ユニットの組み合わせの際の固定方法など、技術的な解決が待たれるが、手頃な価格帯の生活を彩る新しいユニット構成家具の誕生を予感させる。(講評/森田昌嗣)



奨励賞 家具・インテリア部門
かめはめスツール

E : シキファニチア/志岐秀明
DF : スナオラボ/長尾朋貴

「かめはめ」というネーミングが示す通り、子供用に作られた亀の形をしたスツール。飛び出た亀の頭を重ねることでがっちり連結できる。4方向の連結だけでなく縦に積み重ねられることで、積み木のように遊ぶことも可能な、子供の視点に立った知育家具でもある。植物油を主成分とした安全性の高い自然塗料を使用し、座面にはカラフルな塗装やクッションタイプのバリエーションを持っている。大変ユニークなフォームと遊び心満載の仕組みが受賞へとつながった。(講評/松下美紀)



奨励賞 家具・インテリア部門
復活

E : 辻製作所/辻英二
DF : 松本意匠/松本豊

長時間座ること、立ち上がりやすさを追求した椅子“復活”。筑後地方の成形合板技術による木製のフレームに、同じ筑後地方のサーモウルを用いたクッションで形づくられている。フレームと立体的なクッションを独立させて組み合わせることによって、さまざまな体型のユーザーに機能面で対応させるとともに、色柄などユーザーの選択肢を広げている。椅子座の生活が多くなったお年寄り世代に、座りやすい優しいデザインを、地元筑後から提供している。(講評/森田昌嗣)



奨励賞 家具・インテリア部門
style ~nagomigusa~

E : 高田屋/久保田義秋

一般サイズの1/8(450mm×450mm)で展開し、縁をつけないことでシンプルな表情を出した畳「style~ナゴミグサ~」。単色だけでなく、さまざまな色をパズルのように組み合わせられ、使用者の個性を表現できる。素材は直接洗って常に清潔に保つことが可能。濡れても良いということで浴室での使用も出来る。自由な組み合わせが出来ることはよいが、より消費者が求めやすくなるようにデザインをユニット化することを期待する。(講評/松下美紀)

Encouragement prize



奨励賞 家具・インテリア部門
you-myaku(葉脈)

E: 廣松突板/廣松武友

天然木化粧合板に植物の葉を特殊処理した葉脈を凹凸が出ないように貼加工した化粧合板である。特許工法(申請中)により、合板に貼り付ける際に生じやすい葉脈の曲り、反り、あるいは葉脈の周縁部分が浮き上がる等の欠点も全て解消している。触指しても、実に滑らかで、技術力の高さが認められる。葉脈と天然木化粧合板の自然素材の組み合わせは、癒しの効果も高く、工芸的な価値と市場性の広がりを感じさせるところが評価された。(講評/大崗滋喜)



奨励賞 家具・インテリア部門
HA-RU interior sticker removable
(ハル インテリアステッカー リムーバブル)

E: マイサ/加藤美香

貼って剥がしてまた貼れる、その名も「HA-RU」というリムーバブルなインテリアステッカーである。日本の住宅の内装にはビニールクロスが多くとても貼りやすく、壁紙を換えずに容易にインテリアを演出することが出来る。商品のデザイン性が高く、同じものでも貼り方によって個性が出せる面白さもある。素材も布のような感触があり、色もフランス特有の色味で、ポップだけでなくちょっと大人の雰囲気も持っていることが評価された。(講評/松下美紀)



奨励賞 産業・商業機器部門
アーバネクスFOタイプ

E: 昭和鉄工/山本駿一
DF: ビー・エー・デザイン/坂口和夫

公園や街路、護岸等の公共スペースをスタイリッシュにする大変優れたデザインをもつ防護柵である。開放感のあるスタイリッシュな景観を実現するために、鋳物の造形性を大切に、支柱断面を楕円形状にしたことで、柔らかく量感あふれる美しいデザインが実現できている。また、レールの固定にはヘッドレスボルトを採用したことにより、美しさを損なわず、歩行者への安全性にも配慮した点が大変高く評価できる。(講評/神谷昌秀)



奨励賞 産業・商業機器部門
自動パレタイジングシステム「FIFO」

E: 松本工業/松本茂樹
DF: ビー・エー・デザイン/坂口和夫

ものづくりの基本は、整理・整頓・清掃・清潔・躰の5Sである。品質づくり、能率アップもこの5Sによる見える化が基礎になる。「FIFO」は部品を入れたパレットの最小限の保管機能と作業者の手元(ストライクゾーン)にパレットを供給する機構を備えた自動ハンドリング装置である。余分な在庫による省スペース化、抱え作業等の削減、徹底した機構の研究から、低コスト化を実現。また、工場現場にデザインを持ち込むことによるラインの見える化に成功した。(講評/大崗滋喜)



奨励賞 地域産品部門
つるまる『筑後川の四季』

E: 鶴商店/鶴記久朗
DF: デザインプログラム/かねこしんぞう

菓子材料や資材卸という従来の業態を崩すことなく、家庭での手作り商品としてまとめあげた商品群である。季節を織り交ぜる「苺、茶、柿、酒」をはじめとする筑後地方の豊かな素材を、同じ筑後地方の雰囲気や竹素材を使って、素材とともに高級感をパッケージとしてまとめあげ、菓子素材という取扱い難い商品の一つの消費者向け商品群として仕上げている。デザイナーを活用したパッケージデザイン開発の好例の一つといえる。(講評/藤元正二)



奨励賞 地域産品部門
若摘み巨峰の白ワイン、若摘み巨峰のコンフィチュール、若摘み巨峰のビネガー、若摘み巨峰のピクルス

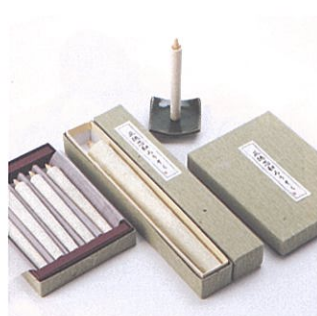
E: 鞆手町商工会/許斐美幸

もともと、品質保持のために間引いていた巨峰に商品価値を与えた点を高く評価したい。潇洒な容器の選択と、若々しい色彩・図案を採用したラベルのデザインなど、破綻無く、美しくまとまった製品群である。鞆手町が隣接する岡垣町には知名度の高いレストランがあり、文化の発信源として成功している。県内産業が刺激を受け合い、様々な地域から同レベルのブランドが育って欲しいと願う。(講評/楠林拓)



奨励賞 地域産品部門
自然献上18°
[博多織PCケース・い草PCシートほか]
E: 自然献上18°プロジェクト推進協議会/鷺海織物工場・添島敷商店・匠工芸・浜地酒造・如水庵・オフィス魂/平松暁(プロデュース)
DF: SACHIKA WORLD/汐真sachika

博多織の伝統的「献上文様」をモチーフに、花・葉・星・雪・太陽等の自然要素と精神性を融合させた、地域と世界の自然環境統一ブランドプロジェクト。小説家・アーティストでありデザイナーでもあるマルチクリエイターが発信するコンセプト「Return to Nature-水と森の妖精たち」を基に、博多織・い草・透かし彫り・菓子・甘酒など、異業種間を連携させた本プロジェクトの成果は、既存のマーケットの枠組みを超えた新たな地域ビジネスの可能性を示唆している。(講評/森田昌嗣)



奨励賞 地域産品部門
正徳芯和ろうそく お供え用

E: 松山権復活委員会/矢野真由美

江戸時代に利用されていたが絶えてしまった松山燭を樹木採しから行って育成し、再び和ろうそくとして復活させようという取り組みに賞賛を送りたい。一つ一つの素材・製法にこだわり抜いて作られたろうそくの炎を実際に見てみたいという気持ちにさせる背景トークには説得力がある。伝統の材料・製法にこだわる一方、携帯・贈答として使いやすいサイズ設定を行った点も評価したい。今後、他の利用シーンへの製品展開を期待したい。(講評/楠林拓)

Encouragement prize



奨励賞 地域産品部門
OTAIKO MUSUBI

E：岡野/岡野博一
DF：アールピースファクトリー/矢島光

博多献上柄をカードケースなどのステーショナリーに展開した製品は数多くあるが、このOTAIKO MUSUBIは、折り畳むというシンプルな構造から生まれる和を象徴する柔軟な造形、さまざまな使用シーンに対応する機能性、さらに皮と博多織という素材の組み合わせの面白さで群を抜いている。現代の実用的なアイテムに、魅力的な献上柄をスマートに融合させた点で、愛着の持てる一品として優れたデザイン性を発揮している。(講評/池田美奈子)



奨励賞 地域産品部門
codomono project コドモノ寝ゴザ

E：blue birds fukuoka/高倉朋子

コドモの空間から天然素材が減少する現在、白いベビーベッドにも合う「イ草の寝ゴザ」として本年5月より発売を開始したものである。ユーザーターゲットが明確に設定され、緑の形状や6種類の色彩選択も的確でありシンプルなデザインに好感が持てる。また、商品性能として必須である素材選択にも過不足のない注意が向けられ、洗濯の可能性や粉塵が出にくく感触の良い九州産の「無染土イ草」を使用していることも好感を持って評価された。(講評/宮本一伸)



奨励賞 地域産品部門
博多織献上館にしむら 博多献上シリーズ

E：西村織物/西村悦夫

献上柄は、現代の感性にもマッチする魅力的な文様である。本来高価なものである博多織を、伝統と現代の接点を作り出すことで、人々の日常生活のなかへと馴染ませようとする取り組みが好ましい。普段の生活の中に、さりげない美意識を感じさせるようなアイテム展開、手頃な価格の商品でありながらキッチュにならない洗練されたデザイン性が評価される。(講評/池田美奈子)



奨励賞 医療・福祉・環境・教育機器部門
サンクリア イメージハンブV
平面自転車ラベル(H・G)

E：完装/深見和己

サンクリアのシリーズ商品である。今回は自転車走ることができる歩道での事故防止を目的とした標示材を提供している。誰が見てもわかるよう、歩道上の自転車通行区分標示に自転車を真上から見た絵標示として開発提供した。従来からのシリーズ商品との組合せで、多様な目的に応じた標示が可能で、通行区分からスピードの緩和標示等、事故防止効果が期待され、すでに福岡市内約60箇所での施行例が報告されている。(講評/大園滋喜)



奨励賞 地域産品部門
いぐさテーブルマットUKI

E：ピソコムド/千住雄一

通常平面でしか見ることのない筑後地域の特産材イグサを、大川の家具部品成形技術と組み合わせて、利用用途を広げる試みを評価したい。足元に置かれることの多かったイグサを利用者の手元まで近づけることによって、旧来の素材を新しい目で見られる機会をユーザーに与えている。是非とも筑後地方の宿泊施設で利用されているシーンを見たい。今後も地域素材再評価に向けたさらなる展開を望む。(講評/楠林拓)

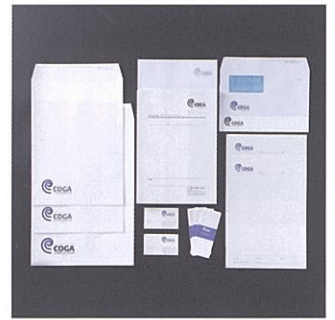


奨励賞 医療・福祉・環境・教育機器部門
6in1ソーラー工作キット

E：イーケイジャパン/井口秀実

小学校低学年の生徒が工夫を凝らしながら、一つのキットから6種類もの工作が可能になっていることは大変アイデアあふれる製品である。地球環境への理解や興味を深めるため、ソーラーパネルや風車などを取り入れることで、その原理や好奇心を引き出せるようになっている。6種類いづれも丸みを基調とした柔らかいデザインになっており、子供達が親しみをもって工作できる安価な製品として、大変優れていると評価した。(講評/神谷昌秀)

Special section prize



県内デザイナー×県外企業部門賞
株式会社コガコーポレーションVI計画

E：COGA CORPORATION/古賀順次
DF：TAKANO GRAPHIS/高野俊朗

コンベンションホールやホテル、宴会場等のイベント時にレンタル用品を提供するコガコーポレーションが、宮崎県外への事業拡大を目指して実施したヴィジュアル・アイデンティティ(VI)計画。国際展開も視野に入れ、英語表記を主としたシンプルかつ個性的なマーク・ロゴタイプを基本アイテムに、ステーションナリー・名刺などからレンタル用品等の搬出入で露出度の高い車両、段ボールなどのアプリケーション展開に至るトータルな完成度の高いVIデザインである。(講評/森田昌嗣)

DESIGN SYMPOSIUM

FUKUOKA DESIGN AWARD '09

Prize-winning commodity collection
Symposium, Exhibition and Commendation Ceremony



Good Design is Good Business.

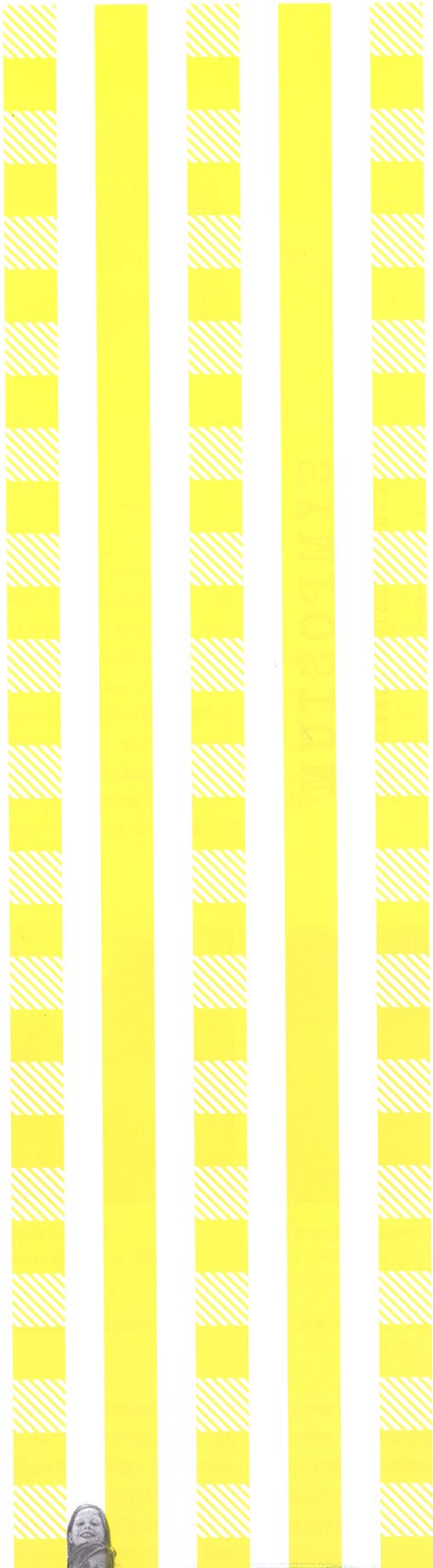
Makoto Umebara

「考え方をデザインする」

Design Symposium

経済指標47番目の県である高知県。ご自身の出身であり、現在もご在住で「この土地でデザインをするなら、何ができるだろう?また47番目ということを活かすにはどうするとよいか」の問いから、長年の経験により発見した梅原「デザイン公式」 $-1 \times -1 = +1$ 。これは一次産業(農業・林業・漁業)またはデザインをかけあわせることで新しい価値を作り出すというものでした。また権提言するコミュニケーションデザインとは、人(A)とモノや商品(B)を結ぶものが、デザインであり、このCのパイプが太ければ太いほど、情報が人に早く伝わり売れるという考え方。今回の講演では、この独自の公式とデザインベクトルで生まれた仕事の事例をもとに「考え方をデザインする」という講演をいただき、「どこからでもモノづくりは生まれる」として最初に紹介された「四万十緑茶」緑茶がペットボトルで売られることが四万十川の志とは違うという梅原氏の、四万十流域で販売されるものを全て新聞で包もうという運動により、今では新聞バッグ」が世界でも注目され、新聞で地球を包もうという計画まで膨らんでした。また土佐のかつお一本釣りの風景を残したいという願いから8年間という産業を生んだ「土佐・一本釣り・薫焼きたき」。効率の悪い「かつお釣り」に、さらに効率の悪い「薫焼き」の手法に「漁師が釣って、漁師が焼いたデザイン(キャッチフレーズ)で、みごとに「 $-1 \times -1 = +1$ 」の構図と「人(A)に高い情報が早く伝わる(C)パイプ」の役割がわかりやすく紹介されました。その「砂浜美術館」84(はちよん)プロジェクト」など約10数点の事例が発表され、最後にご自分のことを「どうも、僕はマイナスなモノにひかれます」と言われて、このマイナスのモノをマイナスではなくプラスにするための「プラスの考え方の良さを見つけ出す」。この思考(「頭のチャンネルをひねるだけ」梅原氏「考え方をデザインする」ということではないかと気づかせてもらいました。

うめばら まこと 1972年高知放送プロダクション入社。79年アメリカ遊学後、梅原デザイン事務所を「一次産業再生」のためにつかいた。88年、かつお一本釣り漁師とともに「一本釣りを商品開発、8年間で20億円の産業を作り出す。89年、4kmの砂浜を巨大なミュージアム「大方町・砂浜美術館」をプロデュース。2005年、流域で販売するものはすべて古新聞で包む「しまんと新聞バッグ」をプロデュース、世界に展開中。09年「高知県の森林率84%は日本自身がサプライズ、高知県のほとんどはCO2を吸収する装置として位置づけ84(はちよん)PRC月4日「はちよん会議」にてスタート。「一次産業×デザイン=あたらしい価値」という方程式により、良い風景を残し続けるためのデザインでありたいと精進中。



Chiaki Murata

「感性価値が開く、あたらしい日本のものづくり」

Design Symposium

「どうしたら良いデザインが、ちゃんと市場に入り込めるのか」「もっと積極的に流通やモノづくりの仕組みをやらなきゃ」という氏の自問自答から生まれた「METAPHYS」というコンソーシアムブランド。これはモノをつくる考え方を先行させ、そこに共感するパートナー企業が、共通思想のもとに一つの商品を開発し市場に送り出すという新しいデザイン事業でした。近年、中国製品などの品質が安定しアジアがデザイン先進国になりつつあるという背景の中で、これから日本はどのようなモノづくりをやっていくべきなのかという問題について、ムラタ氏が提唱している新たな商品基準「感性価値」の考え方を、「METAPHYS」の事例とともに紹介いただきました。

現在、価格と機能を比較する従来の「商品価値」に加えて、ユーザビリティや環境に配慮されたものに焦点があてられるようになってきたことから、氏が研究している「感性価値」…これは作り手(企業)が商品に込めるメッセージを6つの要素(「背景感性価値」「感覚感性価値」「啓発感性価値」「思想感性価値」「技術感性価値」「創造感性価値」)に分けた概念で、商品を作る際、この6つの要素のどこかに重心をおくことで、感性価値のある商品となり、またどの要素に比重をおくかによって、商品の性格を決定づけるというものです。従来の「商品価値」の商品に比べ、この「感性価値」の商品の方が、使い手(消費者)に共感されやすい状況を作りだします。また6つの要素軸をヘキサゴングラフに落とし込んでみることで、より商品の魅力や性格がはっきりとわかるようになっていました。講演の中で日本人にしかできないデザイン「桜の輪染みグラス」が紹介されましたが、日本人の感性は、繊細でウィットに富み表現豊かだということも再確認させられました。そのことからモノづくりは、モノ単体を見るのではなく、モノの背後にあるものまで一緒に見てモノづくりを行うことで、6つの要素の価値軸に繋がること。またその要素を日本人らしい視点でみることで「感性価値が開く、あたらしい日本のものづくり」ではないかと考えさせられました。

むらた ちあき プロダクトデザイナー。(株)ハーズ実験デザイン研究所/METAPHYS代表取締役。2005年ミラノで、コンソーシアムデザインブランドMETAPHYSを発表し、異業種でブランド、流通を共有するビジネスモデルを実践。また、「行為のデザイン」という行動心理分析の商品開発法を提唱し、多くの商品で実践している。2001年グッドデザイン賞で3方向衝撃加速度計が金賞受賞、2005年無人航空機「カイトブレンレスキュー」、METAPHYS「Falce」が中小企業庁長官特別賞受賞。「Xbox 360」のデザインを手がける。2007年電子キャンドルMETAPHYS「hono」が、新日本様式受賞、Red dot賞受賞。同年サイトロンクリーナーMETAPHYS「uzu」がRed dot賞受賞、浄水器、空気清浄機など3点がIF賞受賞。2008年消しゴム「viss」がISOT 2008ステーションナリー・オブ・ザ・イヤーを受賞、3way pen、2mm芯ホルダーペン「locus」がグッドデザイン中小企業庁長官特別賞を受賞。2008アジアデザインアワードで「uzu」がブロンズ賞受賞。



OUTLINE OF
FUKUOKA
DESIGN
AWARD '09

FUKUOKA DESIGN AWARD '09

Prize-winning commodity collection
Symposium, Exhibition and Commendation Ceremony



Good Design is Good Business.

応募商品展示会・デザインシンポジウム・表彰式 開催

Symposium, Exhibition and Commendation Ceremony

売れる商品を開発する上で、デザインの果たす役割はますます重要になっています。福岡産業デザイン賞は、企業のデザイン力の向上と生活者のデザインマインドの高揚を目的に、県内で生産された製品の中から、特に市場性・デザインクオリティ・オリジナリティーの高い商品を表彰するとともに受賞商品については、積極的なPRを行っています。

○開催日時：平成21年11月10日(火)・11日(水) ○会場：西鉄グランドホテル
○主催：福岡県・福岡県産業デザイン協議会 ○事業目的：市場性を有し、オリジナリティーの高い、デザインの優れたものを表彰・推奨し、広く県民・企業に知らしめることで、企業やデザイナーの開発意欲を増進し、売れるものづくり開発を支援するもの。平成11年度創設。 ○応募対象：福岡県内の企業が製造又は販売している製品及び商品で反復生産が可能なもの。ただし、概ね5年以内にデザインされたもので現在販売されているもの、あるいは当年度販売予定のもの。 ○応募資格：県内に事業所を置く中小企業及び地場中堅企業(※地場中堅企業…県内に本社がある資本金30億円以下の企業)

□11月10日(火)

14:00~18:00 応募商品展示会

15:00~16:00 シンポジウム

●テーマ<考え方をデザインする>

講師=梅原真氏(梅原デザイン事務所 主宰)

16:30~18:00 中小企業デザイン活用推進事業成果報告会

18:00~19:00 交流会

□11月11日(水)

11:00~17:00 応募商品展示会

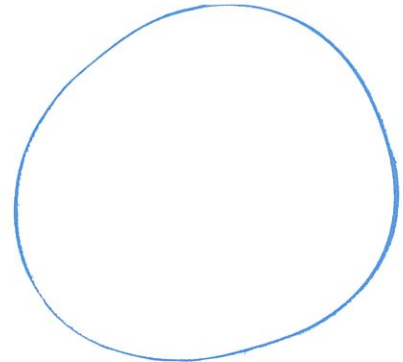
15:15~16:15 シンポジウム

●テーマ<感性価値が開く、あたらしい日本のものづくり>

講師=ムラタ・チアキ氏

((株)ハーズ実験デザイン研究所/METAPHYS代表取締役)

16:30~17:00 各賞発表、表彰式



Winning enterprise list

01

大賞/日用品部門
緑茶維新シリーズ
T/BAG(ティーバッグ)
T/POWDER(ティーパウダー)
企業:
株式会社 つじり
代表取締役社長 辻利之
〒802-0006
北九州市小倉北区魚町3-2-19
電話 093-521-3117
ファックス 093-522-1291
E-mail: info@tsujiri.co.jp
URL: http://www.tsujiri.co.jp/
デザイン:
SHIROKURO
代表者 加藤真弓
〒814-0002
福岡市早良区西新2-19-2-1B

02

優秀賞/
地域文化賞/地域産品部門
博多テックスインテリアファブリック
クッション・テーブルセンター
企業:
博多テックス有限責任事業組合
代表者 原田昌行
〒812-0013
福岡市博多区博多駅東2丁目6番24号
電話 092-431-7721
ファックス 092-431-7734
E-mail: harada-orimono@lily.ocn.ne.jp
デザイン:
ダーウィン有限責任事業組合
代表者 かねこしんぞう
〒810-0073
福岡市中央区舞鶴3-1-30
福徳ビル2号館3F

03

優秀賞/
マテリアル賞/産業・商業機器部門
トツノウ
企業:
株式会社 トツノウ
代表取締役社長 末包深和
〒810-0074
福岡市中央区大手門2丁目2番11号
電話 092-713-6006
ファックス 092-713-6005
E-mail: info@geo-brain.co.jp
URL: http://www.totto-color.com/
デザイン:
有限会社 GEO BRAIN 一級建築士事務所
代表取締役 白藤泰利(一級建築士)
〒810-0027
福岡市中央区御所ヶ谷3番13-55号

04

優秀賞/
テクノロジー賞/産業・商業機器部門
エア式ピッチングマシン
「ビッグガン」
企業:
共和技研株式会社
代表取締役 田中完二
〒816-0921
大野城市仲畑3丁目4-25
電話 092-571-3040
ファックス 092-572-5932
E-mail: info@pmx-topgun.co.jp
URL: http://www.pmx-topgun.co.jp/
デザイン:
株式会社 ビー・エー・デザイン
代表取締役 坂口和夫
〒810-0001
福岡市中央区天神5-5-8 福桜ビル4F

05

優秀賞/
環境・福祉賞/産業・商業機器部門
スタイルンジュソー照明シリーズ
(ストーク・フック・サイネージ)
企業:
株式会社 リーフライト
代表取締役 瀬川美子
〒816-0924
大野城市栄町3丁目1-24
電話 092-584-0150
ファックス 092-588-8560
E-mail: segawa@leaflight.co.jp
URL: http://www.leaflight.co.jp/index.htm
デザイン:
株式会社 ビー・エー・デザイン
代表取締役 坂口和夫
〒810-0001
福岡市中央区天神5-5-8 福桜ビル4F

06

優秀賞/
ライフスタイル賞/家具・インテリア部門
sodento
企業:
ナカヤマ木工
専務 中山貴裕
〒831-0041
大川市小保住吉800
電話 0944-86-4227
E-mail: xwggm422@ybb.ne.jp
URL: http://www.nkym-solid.jp/
デザイン:
近畿大学産業理工学部
建築・デザイン学科空間デザイン研究室
准教授 金子哲大
〒820-0011
飯塚市柏の森11-6

07

優秀賞/
インターフェース賞/日用品部門
エコ商品携帯折箱(オハコ)
オリモーター
企業:
デロテコム株式会社
代表取締役 田中雄二
〒811-3225
福津市東福岡1-2-2
電話 0940-43-3155
ファックス 0940-43-2855
E-mail: y_tanaka_delotecom@yahoo.co.jp
URL: http://www.delotecom.jp/

08

ゲスト審査委員賞(梅原真賞)
奨励賞/産業・商業機器部門
雨水簡易集水ネット「雨葉」
企業:
吉村デザイン工房
代表 吉村正暢
〒819-1323
糸島市志摩小金丸405-2
電話 092-327-0205
ファックス 092-327-0205
E-mail: my8058@friend.ocn.ne.jp
URL: http://www.ameha.jp/

09

ゲスト審査委員賞(ムラタ・チアキ賞)
奨励賞/家具・インテリア部門
和紙ブリーチ照明
企業:
株式会社 COLET井筒屋
アドバイザー 島添正信
〒802-8508
北九州市小倉北区京町3丁目1-1
電話 093-514-1211

ファックス 093-514-1397
E-mail: shimazoe@izutsuya.co.jp

10

バルコ賞
奨励賞/日用品部門
DateBlockシリーズ
企業: 株式会社 エーアールユー
代表取締役
グラフィックデザイナー 永岡武
〒815-0032
福岡市南区塩原2-6-3
電話 092-512-9351
ファックス 092-512-9852
E-mail: aru@aru.gr.jp
URL: http://www.aru.gr.jp/
デザイン:
デザインスタジオ・アル
代表・グラフィックデザイナー 永岡武
〒815-0032
福岡市南区塩原2-6-3

11

奨励賞/日用品部門
自然薯とろろドレッシング/
自然薯万能とろろ
企業:
有限会社 野菜王国
代表取締役 崎田正司
〒811-1344
福岡市南区三宅3丁目17番11-804
電話 092-554-7041
ファックス 092-554-7041
E-mail: qqt77nv79@cap.ocn.ne.jp
URL: http://www3.ocn.ne.jp/~yasaio/
デザイン:
有限会社 ビーアンドビー
代表取締役 真田彬
〒815-0081
福岡市南区那の川1丁目13-6 A&Sビル2F

12

奨励賞/日用品部門
つるまる「スイーツ」【クッキング】
企業:
株式会社 鶴商店
代表取締役 鶴記久朗
〒830-0061
久留米市津福今町205-8
電話 0942-32-8538
ファックス 0942-32-8527
E-mail: info@tsurumaru-sky.jp
URL: http://www.tsurumaru-sky.jp
デザイン:
株式会社 デザインプログラム
代表取締役 かねこしんぞう
〒810-0073
福岡市中央区舞鶴3-1-30 祐徳ビル2号館3F

13

奨励賞/日用品部門
博多献上ガラス皿
企業:
坂井ガラス工房
代表者 坂井徳宏
〒831-0005
大川市向島1543
電話 0944-86-4465
ファックス 0944-86-4955

14

奨励賞/日用品部門
ラ・ラ・ラグラス
企業:
粋工房株式会社
代表取締役社長 伊藤幹生
〒811-3514
宗像市田野2327-6

電話 0940-62-0272
ファックス 0940-62-1895
E-mail: suikoubou@yahoo.co.jp
URL: http://www.suikoubou.net/

15

奨励賞/日用品部門
淡竹(HACHIKU)ー竹石鹸ー
(通称:淡竹(はちく)石鹸)
企業:
NPO法人 すこやかコミュニティセンター
代表理事 立石朋子
〒812-0013
福岡市博多区博多駅東3-9-3
電話 092-402-3030
ファックス 092-402-3111
E-mail: tateishi@hachiku21.com
URL: http://takesekken.shop-pro.jp/
デザイン:
有限会社 スタジオ・ベン
代表取締役 上原勉
〒810-0021
福岡市中央区今泉2-4-58-402

16

奨励賞/日用品部門
コスメパティシエ
企業:
株式会社 ハーベリアース
クリエイティブプロデューサー
代表取締役 久間聖子
〒810-0022
福岡市中央区薬院3丁目12-41-202
電話 092-791-8354
ファックス 092-791-8364
E-mail: info@herbery-earth.jp
URL: http://www.herbery-earth.jp/

17

奨励賞/日用品部門
LumieCUBE
企業:
田川産業株式会社
代表取締役 行平信義
〒826-0041
田川市大字弓削田1924番地
電話 0947-44-2240
ファックス 0947-44-8484
E-mail: yukihira@shirokabe.co.jp
URL: http://www.shirokabe.co.jp/
デザイン:
岩下建作デザインオフィス
代表者 岩下建作
〒810-0032
福岡市中央区輝国2丁目2-58

18

奨励賞/日用品部門
SIMPLE STUDIO
企業:
上村紙業株式会社
代表取締役社長 上村篤弘
〒803-0845
北九州市小倉北区上到津3丁目4-1
電話 093-651-2881(代表)
ファックス 093-652-2203
E-mail: us-web@uemura-shigyoo.co.jp
URL: http://www.uemura-shigyoo.co.jp/

19

奨励賞/家具・インテリア部門
スツール
企業:
独楽工房 隈本木工所
代表者 隈本知伸
〒834-0006
八女市吉田1507-3
電話 0943-22-2955

ファックス 0943-22-3713
E-mail : info@yamegoma.jp
URL : http://www.yamegoma.jp/
デザイン :
福岡県工業技術センター
インテリア研究所
所長 諫山宗敬
〒831-0031
大川市上巻405-3

20
奨励賞/家具・インテリア部門
loaf
企業 :
有限会社 近藤コア工業
代表取締役 近藤高之
〒832-0088
柳川市間887-1
電話 0944-72-7922
ファックス 0944-72-7034
E-mail : hiraku@fuk.kindai.ac.jp
デザイン :
近畿大学産業理工学部
建築・デザイン学科
プロダクトデザイン研究室
尾道翔太・楠林拓
〒820-8555
飯塚市栢の森11-6

21
奨励賞/家具・インテリア部門
かめはめスツール
企業 :
シキファニチア株式会社
代表取締役 志岐秀明
〒838-0026
朝倉市柿原458
電話 0946-22-6031
ファックス 0946-22-7104
E-mail : siki-f@mx7.tiki.ne.jp
URL : http://www18.ocn.ne.jp/~shiki-f/
デザイン :
スナオラボ
代表 長尾朋貴
〒838-0824
朝倉郡筑前町原地藏2232-24

22
奨励賞/家具・インテリア部門
復活
企業 :
株式会社 辻製作所
代表取締役 辻英二
〒831-0007
大川市道海島135-1
電話 0944-86-2938
ファックス 0944-86-2995
E-mail : tsuji.ss@nifty.com
URL : http://www.tsuji-ss.com/
デザイン :
松本意匠
代表 松本豊
〒833-0016
筑後市常用819-7

23
奨励賞/家具・インテリア部門
style~nagomigusa~
企業 :
有限会社 高田屋
代表取締役 久保田義秋
〒839-0224
みやま市高田町田尻1580-1
電話 0944-22-5907
ファックス 0944-22-6425
E-mail : takadaya@msg.biglobe.ne.jp

24

奨励賞/家具・インテリア部門
you-myaku(葉脈)
企業 :
有限会社 廣松突板
取締役 廣松武友
〒831-0026
大川市三丸812-2
電話 0944-88-1700
ファックス 0948-88-1701
E-mail : tkmt1951@ybb.ne.jp
URL : http://www.geocities.jp/
hiromatsu_tukiita/index.html

25
奨励賞/家具・インテリア部門
HA-RU interior sticker removable
(ハル インテリアステッカー リムーバブル)
企業 :
株式会社 マイサ
代表取締役 加藤美香
〒812-0863
福岡市博多区金隈1-33-23
電話 092-513-0113
ファックス 092-513-0114
E-mail : info@ha-ru.biz
URL : http://www.ha-ru.biz

26
奨励賞/産業・商業機器部門
アークネクスFOタイプ
企業 :
昭和鉄工株式会社
代表取締役社長 山本駿一
〒812-8587
福岡市東区箱崎ふ頭3丁目1-35
電話 092-651-2939
ファックス 092-651-0558
E-mail : s_yamag@showa.co.jp
URL : http://www.showa.co.jp/
デザイン :
株式会社 ビー・エー・デザイン
代表取締役 坂口和夫
〒810-0001
福岡市中央区天神5-5-8 福桜ビル4F

27
奨励賞/産業・商業機器部門
自動パレットインジゲンシステム「FIFO」
企業 :
松本工業株式会社
代表取締役社長 松本茂樹
〒802-0065
北九州市小倉北区三萩野1-2-5
電話 0979-82-1171
ファックス 0979-82-1521
E-mail : shinsuke@matsumoto-kk.jp
URL : http://www.matsumoto-kk.co.jp/
デザイン :
株式会社 ビー・エー・デザイン
代表取締役 坂口和夫
〒810-0001
福岡市中央区天神5-5-8 福桜ビル4F

28
奨励賞/地域産品部門
つるまる「筑後川の四季」
企業 :
株式会社 鶴商店
代表取締役 鶴記久朗
〒830-0061
久留米市津福今町205-8
電話 0942-32-8538
ファックス 0942-32-8527
E-mail : info@tsurumaru-sky.jp
URL : http://www.tsurumaru-sky.jp
デザイン :
株式会社 デザインプログラム
代表取締役 かねこしんぞう

〒810-0073
福岡市中央区舞鶴3-1-30 祐徳ビル2号館3F

29
奨励賞/地域産品部門
若摘み巨峰の白ワイン、
若摘み巨峰のコンフィチュール、
若摘み巨峰のピネガー、
若摘み巨峰のピクルス
企業 :
鞍手町商工会
会長 許斐英幸
〒807-1312
鞍手郡鞍手町大字中山2768
電話 0949-42-0357
ファックス 0949-42-4468
E-mail : kurate@shokokai.ne.jp
URL : http://www.fukuoka.com/kurate/

30
奨励賞/地域産品部門
自然献上18°
[博多織PCケース・い草PCシート ほか]
企業 :
自然献上18°プロジェクト推進協議会
鷺海織物工場・浜島商店・
匠工芸・浜地酒造・
如水庵・オファス魂/平松暁(プロデュース)
〒810-0023
福岡市中央区警固1-4-18
電話 092-724-0388
ファックス 092-724-3587
URL : http://www.18e.jp/
デザイン :
SACHIKA WORLD
デザイナー 沙真sachika
〒810-0023
福岡市中央区警固1-4-18

31
奨励賞/地域産品部門
正徳志和ろうそく お供え用
企業 :
松山植復活委員会
代表 矢野真由美
〒839-1233
久留米市田主丸町田主丸1224-80
電話 090-6779-4352
ファックス 0943-72-3854
E-mail : info@mahaze.com
URL : http://www.mahaze.com/

32
奨励賞/地域産品部門
OTAIKO MUSUBI(名刺入れ・カードケース)
企業 :
株式会社 岡野
代表取締役社長 岡野博一
〒811-1204
筑紫郡那珂川町片縄東1-6-21
電話 092-952-3586
ファックス 092-952-3915
E-mail : info@iza-jpn.jp
URL : http://www.iza-jpn.jp
デザイン :
株式会社 アルピースファクトリー
代表取締役 矢島光
〒154-0004
東京都世田谷区太子堂5-15-3
R-ROOMS三軒茶屋2C

33
奨励賞/地域産品部門
博多織献上館にしひら
博多献上シリーズ
企業 :
西村織物株式会社
代表取締役社長 西村悦夫

〒818-0061
筑紫野市紫7-3-5
電話 092-922-7128
ファックス 092-925-2925
E-mail : kenjokan@oriya-nishimura.co.jp
URL : http://www.oriya-nishimura.co.jp/

34
奨励賞/地域産品部門
いぐさテーブルマットUKI
企業 :
株式会社 ビソコモド
代表取締役 千住雄一
〒830-0424
三浦郡大木町三八松1052
電話 0944-75-8611
ファックス 0944-75-8220
E-mail : info@piso-comodo.co.jp
URL : http://www.piso-comodo.co.jp/

35
奨励賞/地域産品部門
codomono project コドモノ寝ゴザ
企業 :
blue birds fukuoka
〒813-0017
福岡市東区香椎照葉3-2-1
シーマークビル201
電話 092-985-4108
ファックス 092-980-1029
E-mail : uchida@rakugakiart.com
URL : http://www.codomono.net/

36
奨励賞/医療・福祉・環境・教育機器部門
サンクリア イメージハンブV
平面自転車ラベル(H・G)
企業 :
有限会社 完装
代表取締役 深見和己
〒812-0895
福岡市博多区竹下1丁目11-27
電話 092-431-0529
ファックス 092-431-0529
URL : http://www.sunclear.com

37
奨励賞/医療・福祉・環境・教育機器部門
6in1ソーラーワークキット
企業 :
株式会社 イーケイジャパン
代表取締役 井口秀実
〒818-0105
太宰府市都府楼南2丁目19番30号
電話 092-923-8230
ファックス 092-923-8237
E-mail : info@elekit.co.jp
URL : http://www.elekit.co.jp/

38
特別部門賞/
県内デザイナー×県外企業部門賞
株式会社コガコーポレーション
VIデザイン計画
企業 :
株式会社COGA CORPORATION
代表取締役 古賀順次
〒883-0062
宮崎県日向市大字日知屋3380-13
デザイン :
TAKANO GRAPHIS
代表 高野俊朗
〒815-0084
福岡市南区市崎2丁目15-26
電話 092-526-5565
ファックス 092-526-8865
E-mail : takano-c@takano-graphis1979.com

FUKUOKA DESIGN AWARD '09
Prize-winning commodity collection
Symposium, Exhibition and Commendation Ceremony

Publishing by
Fukuoka Industrial Design Association /
Fukuoka Prefectural Government
Phone 092 643 3435 Fax 092 643 3436
URL, <http://www.joho-fukuoka.or.jp/fsandkyo/>
MAIL, design@asias-kyushu.com
ADD, 7-7 Higashi Koen, Hakata-ku, Fukuoka City
Fukuoka 812-8577 Japan

Copyright 2010.
The Trustees of
Fukuoka Industrial Design Association /
Fukuoka Prefectural Government
Publishing Right Trust.
All Rights Reserved.

Art Direction and Design by
SHINJI SADAMATSU / This Design co.
Phone 092 737 5134
Fax 092 406 1203
URL, <http://www.thisdesign.jp/>
MAIL, this@thisdesign.jp
ADD, Akasaka Noda Bldg. 3F 1-6-22 Akasaka,
Cyuo-ku, Fukuoka City 810-0042 Japan

Photograph by
TOMOFUMI YAMADA / Studio hál
Phone & Fax 092 413 6123
MAIL, sthal68@ybb.ne.jp
ADD, 3-9-12 Kamimuta, Hakata-ku,
Fukuoka City 812-0006 Japan

Printing Consult by
EAST ASAHI Co.
Phone 099-266-5522
Fax 099-266-5523
MAIL, east@po4.synapse.ne.jp
URL, <http://www4.synapse.ne.jp/east/>
ADD, 3-30-7 Minami Sakae,
Kagoshima 891-0122 Japan

Produce by
Japan Graphic Designers Association inc(JAGDA)
Jagda Fukuoka Area
and
Fukuoka Industrial Design Association /
Fukuoka Prefectural Government



1. Fukuoka Design Award Nominating Product Show / 2. Section of Daily necessities
3. Section of Furniture and Interior / 4. Section of Industry and Corerce Equipment
5. Section of Local products / 6. Section of Medical care and Welfare and Education Equipment
7. Section of Special= Designer of the prefecture×Enterprise of outside the prefecture

FUKUOKA DESIGN AWARD / COMMENTATION CEREMONY
Grand prix: Excellent prize; Encouragement prize; Special section prize; Prize of guest judge

FUKUOKA DESIGN AWARD SYMPOSIUM
10th, November = Lecture= Mr. Makoto Umehara
11th, November = Lecture = Mr. Chaki Murata

Address / 7-7, Higashi-Koen, Hakata-ku, Fukuoka, 812-8577, JAPAN
Telephone / +81-92-643-3435 / Facsimile / +81-92-643-3436
E-MAIL / design@asia-kyushu.com
URL / <http://www.joho-fukuoka.or.jp/fsandkyo/>

